

【訂正前】

1. 2019年12月期連結業績予想と実績値との差異（2019年1月1日～2019年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想発表（A）	21,996	1,093	803	57	17円92銭
実績値（B）	<u>21,930</u>	<u>1,057</u>	<u>813</u>	<u>33</u>	<u>6円14銭</u>
増減額（B－A）	<u>△66</u>	<u>△35</u>	<u>10</u>	<u>△23</u>	－
増減率（％）	<u>△0.3%</u>	<u>△3.3%</u>	<u>1.3%</u>	<u>△41.8%</u>	－
（ご参考）前年実績 （2018年12月期）	15,278	1,762	1,757	1,257	232円42銭

【訂正後】

1. 2019年12月期連結業績予想と実績値との差異（2019年1月1日～2019年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想発表（A）	21,996	1,093	803	57	17円92銭
実績値（B）	<u>21,909</u>	<u>1,077</u>	<u>837</u>	<u>4</u>	<u>0円87銭</u>
増減額（B－A）	<u>△86</u>	<u>△15</u>	<u>34</u>	<u>△52</u>	＝
増減率（％）	<u>△0.4%</u>	<u>△1.5%</u>	<u>4.3%</u>	<u>△91.8%</u>	＝
（ご参考）前年実績 （2018年12月期）	15,278	1,762	1,757	1,257	232円42銭

【訂正前】

2. 差異発生 の理由

2019年12月17日開示の「連結子会社の解散に関するお知らせ」に公表した通り、当社の連結子会社であるOATアグリフロンティアの解散に伴い発生した固定資産の減損及び評価損等が84百万円減少したこと、スペインの子会社で発生した製品の薬害に対する損害賠償金を134百万円計上したことなどにより、前回発表の数値から特別損失が52百万円増加したことによります。

【訂正後】

2. 差異発生 の理由

2019年12月17日開示の「連結子会社の解散に関するお知らせ」に公表した通り、当社の連結子会社であるOATアグリフロンティアの解散に伴い発生した固定資産の減損及び評価損等が84百万円減少したこと、スペインの子会社で発生した製品の薬害に対する損害賠償金を134百万円計上したことなどにより、前回発表の数値から特別損失が52百万円増加したことによります。

加えて以下の理由により、差異が発生いたしました。

(1) 売上高及び売上原価の誤謬の訂正

当社の連結子会社のOATアグリフロンティア(株)と非連結子会社の(株)養液土耕栽培研究所との内部取引(製品売買取引)及び当社と(株)養液土耕栽培研究所との内部取引に関する会計処理に誤謬があることが判明しました。この訂正により、売上高が20百万円減少し、売上原価が18百万円減少しました。これらの結果、売上総利益及び営業利益が2百万円減少しました。

(2) 売上原価の誤謬の訂正

当社連結子会社において、決算発表後に一部修正があり、たな卸資産に含まれる未実現利益に誤謬があることが判明しました。この訂正により売上原価が7百万円減少し、売上総利益及び営業利益が7百万円増加しました。

(3) 販売管理費の誤謬の訂正

当社において、費用の期間按分につき、決算発表後に誤謬があることが判明しました。この訂正により販売管理費が11百万円減少し、営業利益が11百万円増加しました。

(4) 貸倒引当金繰入額の誤謬の訂正

当社において、決算発表後の会計監査人からの指摘により、貸倒引当金繰入額に誤謬があることが判明しました。この訂正により貸倒引当金繰入額が4百万円減少し、経常利益が4百万円増加しました。

(5) 減損損失の誤謬の訂正

当社の鳴門工場の一部設備につき、決算発表後の会計監査において、固定資産の減損に関して見解の相違があり、会計監査人と協議を重ねた結果、訂正すべきとの結論に至りましたので、訂正いたしました。当社の単体決算において減損損失47百万円を計上することとなった結果、税金等調整前当期純利益が47百万円減少致しました。

(6) 特別損失の科目表示の誤謬訂正

当社において、決算発表後に特別損失の科目表示に誤謬があることが判明しました。この訂正により、損害賠償引当金繰入額が19百万円減少し、減損損失が56百万円増加し、その他が37百万円減少しておりますが、損益には影響はございません。

(7) 法人税等の誤謬の訂正

上記(1)～(6)の訂正の結果、当社及び当社連結子会社において、法人税等の再計算が必要となり訂正を致しました。その結果、法人税等が4百万円増加することとなりました。

以上の修正により、2019年12月17日公表いたしました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の通期連結業績予想と比較して、売上高が21,996百万円から21,909百万円の86百万円減少、営業利益が1,093百万円から1,077百万円の15百万円減少、経常利益が803百万円から837百万円の34百万円増加、親会社株主に帰属する当期純利益が57百万円から4百万円の52百万円減少となりました。

以上